

検査ニュース Vol. 2 No. 4

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「検査内容の変更」および「新規検査項目」についてご案内致します。

公益財団法人佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 志 田 正 典

●検査内容変更のご案内

◆インフルエンザウイルス A 型・B 型 (HI 法) (平成 30 年 11 月 1 日より変更いたしました)

使用抗原株を平成 30 年度ワクチン株に対応した抗原株に変更いたします。なお、検査方法および基準値等の変更はございません。

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	ウイルス抗原株	
			現	新
62	1851	インフルエンザウイルス A 型 (H1N1) (H3N2)	A/シンガポール/GP1908 /2015(H1N1)pdm09 (変更ございません)	
			A/香港/4801/2014(H3N2) A/シンガポール/INFIMH-16-0019 /2016(H3N2)	
	1848	インフルエンザウイルス B 型	B-1	B/ブーケット/3073/2013 (山形系統) (変更ございません)
			B-2	B/テキサス/2/2013 (ビクトリア系統) B/メリーランド/15/2016 (ビクトリア系統)

●新規検査項目

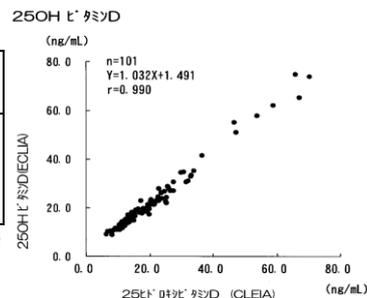
◆25OH ビタミン D (total) (検査受託可能)

ビタミン D は、体内で活性型ビタミン D に変換されることで、腸管からのカルシウムおよびリンの吸収を高め、骨・ミネラル代謝の維持において重要な役割を担っています。体内のビタミン D 貯蔵量の減少によるビタミン D 作用の低下は、カルシウム代謝異常を生じ、骨粗鬆症の発症要因となります。

体内のビタミン D 充足状態の評価には、安定な代謝産物として血中に存在する 25OH ビタミン D 濃度が用いられています。本検査は、血清中の 25OH ビタミン D を ECLIA 法により測定いたします。骨粗鬆症を始めとする代謝性骨疾患におけるビタミン D 不足・欠乏状態の判定補助に有用です。また、高齢者の骨折予防を目的とした健診での活用が期待されています。

項目コード No	検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料判断料	所要日数	検査方法	基準値
1363	25OH ビタミン D (total)	血清 0.5	スピッツ	117 ※3	2~4	ECLIA	ビタミン D 欠乏 20.0未満 ビタミン D 不足 20.0~29.9 (ng/mL)

※3 生化学的検査(I)判断料



【留意事項】

- ア) ECLIA 法を用いた 25-ヒドロキシビタミン D は、区分番号「D007」血液化学検査の「30」KL-6 の所定点数に準じて算定する。
- イ) 本検査は、原発性骨粗鬆症の患者に対して、ECLIA 法により測定した場合にのみ算定できる。ただし、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に 1 回に限り算定する。
- ウ) 本検査を行う場合には、関連学会が定める実施方針を遵守すること。
- エ) 本検査を依頼する場合は、総合依頼書の連絡事項欄に「25OH ビタミン D (total)」と明記する。

